



JAPANESE A1 – STANDARD LEVEL – PAPER 2
JAPONAIS A1 – NIVEAU MOYEN – ÉPREUVE 2
JAPONÉS A1 – NIVEL MEDIO – PRUEBA 2

Monday 8 November 2010 (morning)
Lundi 8 novembre 2010 (matin)
Lunes 8 de noviembre de 2010 (mañana)

1 hour 30 minutes / 1 heure 30 minutes / 1 hora 30 minutos

INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the Part 3 works you have studied. You may include in your answer a discussion of a Part 2 work of the same genre if relevant. Answers which are not based on a discussion of at least two Part 3 works will not score high marks.
- You are not permitted to bring copies of the works you have studied into the examination room.

INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. Vous devez baser votre réponse sur au moins deux des œuvres de la 3^e partie que vous avez étudiées. Le cas échéant, vous pouvez inclure dans votre réponse une discussion sur une œuvre du même genre littéraire étudiée dans la 2^e partie du programme. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la 3^e partie n'obtiendront pas une note élevée.
- Vous n'êtes pas autorisé(e) à amener des exemplaires des œuvres que vous avez étudiées dans la salle d'examen.

INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Elija un tema de redacción. Su respuesta deberá basarse en al menos dos de las obras estudiadas en la Parte 3. Se podrán hacer comentarios sobre una obra de la Parte 2 del mismo género, si fuera necesario. Las respuestas que no incluyan una discusión sobre al menos dos obras de la Parte 3 no recibirán notas altas.
- No se permite traer a la sala de examen copias de las obras estudiadas.

次の問題から一つを選んで、エッセイ（小論文）を書きなさい。エッセイを書くにあたっては、授業で学習した Part 3（ジャンル別の部門）の中の、少なくとも二作品に言及しなさい。なお、Part 3 の作品に加えて、Part 2（精読の部門）の同じジャンルの作品を扱ってもよいが、あくまでも Part 3 の作品を主にしてエッセイを書くこと。

物語・小説

1. 作者は登場人物の心理を描写するために、どのような工夫をしていますか。また、それはどのような効果を生み出していますか。
2. 文学作品の主人公の人生には、さまざまな障害が現れることが良くあります。作者はそれをどのように描いていますか。またそこには作者のどのような意図が込められていますか。

随筆・評論

3. 作者は自己の考え方に説得力を持たせるために、どのような工夫をしていますか。またそれはどのような効果を生んでいますか。
4. あなたの学んだ作品において、伝統的なものに対する、作者のどのような考え方が表現されていましたか。二つ以上の作品から例をあげて、比較しながら論じなさい。

詩歌

5. あなたの学んだ作品において、隠喩（メタファー）にはどのような特色がありましたか。またそれはどのような効果を生み出していますか。
6. 「優れた詩は、書かれた時代を越えて永遠の価値がある」という考え方について、あなたの学んだ作品から例をあげながら論じなさい。

戯曲

7. 観客を最後までひきつけるために、作者は種々の工夫をします。学んだ作品の中から具体例をあげて、その工夫と効果について論じなさい。
8. 演劇には主人公とは対照的な人物または対立する人物が良く描かれます。彼らの描かれ方にはどのような特色があり、またそれによって主人公のどのような面が明らかになりますか。

一般的設問

9. あなたの学んだ作品において、家族はどのような役割をするものとして描かれていましたか。また、そこに作者のどのような考えが現れていますか。
 10. 文学作品には、強者と弱者の比較が良く見られます。あなたの学んだ作品ではそれはどのように描かれていましたか。またそこには作者のどのような考え方が現れていますか。
 11. 肉体と精神は、一致したり反発したりするものですが、あなたの学んだ作品において、これらの関係はどのようなものでしたか。またそれはどのような特色を生んでいましたか。
 12. 「文学作品では何かと戦うことが重要な意味を持つことがある」という考え方について、二作品以上から例をあげて、あなたの考えを述べなさい。
-